

# ようこび

2025.3.20 第144号

年金局・「隠退教師を支える運動」通信

## 「見えない希望に支えられて」

中部教区 羽咋教会牧師 内城 恵

信仰というのはそもそも、揺らぐことのない確かなものに支えられています。信仰を支えているのは、安定した錨のような希望であり、何があつても揺さぶられることのない、主イエス・キリストという土台です。十字架と復活のキリストとを明確に伝える御言葉の光りに、希望を見りますが、しかし、希望を見失いそうな時があります。そのような希望するすべなどまるでない時に、神様の約束の言葉が告げられ、この約束の言葉を信じたものがおりました。アブラハムです。かつて、神様はアブラハムに約束なさ

いました。アブラハムは、生まれ故郷を離れて神様の示す地へと旅立ちます。主の言葉に従つたアブラハムの年齢は75歳。神様はその時にも、「あなたの子孫にこの土地を与える」（創世記12章7節）と力

なる。」（創世記15章5節）アブラハムは空の星を見て、神様の言葉を信じました。その信仰によって、彼は義と認められました。義とされるというのは、信仰によってではなれ赦されて正しいものとされ、その身を神様の言葉に預けたのです。律法によってではなく、信仰によつて義とされた信仰義認です。



内城 恵先生

ナンの土地を示されました。そののち、神様は幻の中でも、約束の言葉を告げられます。天を仰いで、星を数えてみるがよい。」そして言われた。「あなたの子孫はこのように

口ーマの信徒への手紙4章には、希望するすべも何もないときに、自分も妻のサラも年老いていて子を宿すことができないときに、神様の約束を信じたアブラハムの信仰が伝えられております。アブラハムは神様が死者に命を与えるお方であり、存在しないものを呼び出して存在させれる神であられることを、信じたのです。イサクという子どもが誕生するのは、アブラハムが100歳の時です。妻のサラが子を宿せないからだであることを知りながら、信じたのです。そして、その

信仰によって、約束は実現にいたりました。神様はまさに、存在していないものを呼び出して、存在させてくださったのです。

神様の約束を信じることができるかどうか。それが、救いの実現に大きく関わっています。神様の約束は、未来になされる救いの約束です。何千年もたつてアブラハムの子孫に、主イエス・キリストが誕生いたします。

神様が遣わしてくださった御子イエス・キリストは、アブラハムの子孫としてお生まれになられます。従つてアブラハムへの約束は、イサクだけでなくキリストの誕生を、そしてキリストに結ばれている私たちをも、包括しているのです。けれどもアブラハムは、将来のことについて何も知りうることはできません。年老いて子どもが与えられるなど、想像もできません。そんな希望するすべも何もないときに、想像もつかない仕方

で、約束の言葉が与えられたのです。アブラハムは実現をみる前に、空の星を見上げて、して義とされたのです。ここに信仰者の醍醐味があります。

2024年1月1日に能登半島地震が発生し、私は夫と娘と共に石川県志賀町にあります。出張伝道所・富来（とぎ）伝道所におり激しい音と揺れとを経験しました。

町の道路は陥没と隆起、海底も4メートルほど隆起して、海沿いの景色も変わってしまいました。このすさまじい恐ろしさの中でも、夜空の星は一層、輝いています。能登の空は本当に美しく、澄んだ空気の中で、降つてくるかのように無数の星が瞬いており、夕べの礼拝後はなんともいえない星の光が会堂を包みます。希望するすべなどまったくない状況におかれしていく町のなかで、星の光りのごとく御言葉の光りが心に響いてまいりました。暗闇の中に「光

あれ」と言葉によって光が創造された天地創造のはじめのように神様は暗闇から光を創造され、キリストを死者の中から復活させてくださるのです。私たちにはこの約束の言葉が毎週告げられ、そのしるしとして十字架の契約の血による、新しい契約が交わされています。キリストによつて約束の希望の中に招かれているのです。

日本基督教団年金局の謝恩日献金と共に100円献金運動があります。羽咋教会でも長く継続されてきた信徒運動です。このような小さな積み重ねがあり、積み重ねられた希望の上に私達の生活があります。

隠退教師として歩まれる皆様が、これまでの御言葉の業の積み重ねの上にある、希望と感謝に満たされた毎日を歩んでゆかれますようにお祈りいたします。

（うちじょう・めぐみ）

### 「謝恩日献金」と「100円献金」 なにが違うの？

窓口は異なりますが、どちらも、伝道に生涯を捧げられた先生方のお働きに感謝して、隠退後の生活をお支えするために用いられます。

「謝恩日献金」は、教師退職年金を支えるために、教会から教団年金局へお献げいただいています。

「100円献金」は一人が毎月100円ずつお献げしようと始まった信徒運動で、教会で取りまとめて「隠退教師を支える運動」推進委員会にお献げいただいています。

詳細は、教団年金局、「隠退教師を支える運動」推進委員会事務局までお尋ねください。みなさまのお祈りとご参加をお待ちしております。

## 西東京教区での第1回目の集会を終えて

西東京教区推進員 中嶌 曜彦

西東京教区では「隠退教師を支える運動」を覚えて、各教会と伝道所でご奉仕を頂いている担当の方々や、この働きの推進を担っているみなさんが集まり、教団全体でのこの運動の位置づけと沿革、西東京教区の現

況と今後の方針や進展そして夢を話し合うことをテーマに、2025年1月25日（土）に八王子教会において第1回の集まりを行いました。

合計19名の方々が集いました。教区からは布村伸一先生（書記／高井戸教会牧師）が出席なさり、開会の礼拝で祈りと励ましを頂きました。そして、具体的な話合いが活発になりました。最初に、



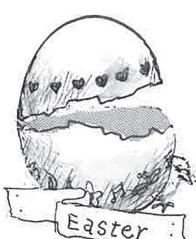
中嶌 曜彦さん

この運動の推進委員長である鈴木秀信さんから、この運動のきっかけとなつたエピソードが紹介され、合わせて過去と現在と今後の構想のご発言があり、次に事務局長の山田昌人さんからは詳細なご説明と留意点

残りの半分の時間は各教会・伝道所から出席した担当の方々が積極的に発言をなさり、連帯と連携を確認しました。そして次回の集まりを約して散会となりました。

西東京教区の「隠退教師を支える運動」の主旨や集会の案内は、教区常置委員会においても提示され、教区の各種書類を発送する一斉発送に同封して頂き進めてきました。更に、対面集会が再開した2023年と2024年の臨時と定期の教区総会でもアピールして、少しづつですが前に進めてきました。これらも教区全体の取り組みの一つとして考えていくことがで

して少しづつ増やすこと、その上でこの運動を担いご奉仕をしている方々の間で情報の共有と交換をすること、このような4点について発題しました。



# 業務室より

## 一年金を受けている方へ 年金給付のお知らせ

4月の定例給付のご案内をします。

**送金内容 2024年度第4期分給付**  
(2025年1・2・3月分)

**送金日 2025年4月10日(木)**  
期日に、ご指定の金融機関に入金されていない場合は、ご連絡ください。

**次回送金 2025年7月10日(木)**

連絡先・年金振込先の変更は、できる限り早めに、書状、Fax、e-mailの何れかで、年金局までお知らせください。

☆第43総会期第1回年金局理事会が、1月24日(金)に教団會議室にて開かれました。北海道から九州までの理事・監事・総幹事、支区代表など26名(内、オンライン参加3名)が出席し、理事長には中川義幸氏が再選、常任理事、各委員会委員長の承認、理事会運営や前総会期からの申し送り事項などが承認されました。さらに、各教区での活動報告や今年度末に向けての謝恩日献金の増額、参加率アップの呼びかけの取り組みについて情報交換をすることができました。本総会期のメンバーは右記のとおりです。

☆2024年度末を迎えました。今年度も12月の定例給付現在時点で701名の先生・ご遺族の方々に合計約1億787万円を予定通りお送りすることができました。感謝し、ご報告いたします。

☆2019年4月より6年間務めさせていただきました業務室長の職を、3月末を以て辞させていただくことになりました。2年目からはコロナウイルス感染症蔓延により業務は一変、年金給付が滞らないを第一に心がけてまいりました。後任

は8年の年金局職員歴をもつ本田由紀子さん(西東京・武蔵野緑教会信徒)に安心して引き継ぐことができました。職員が欠員のため、今しばらくは職員として残留いたしますが、これまで教区事務所の方々、全国の教会伝道所の方々とのお交わりとお支え、神さまのお導きに感謝いたします。

(村山めぐみ)

第43総会期 年金局理事・監事		
	( )内教区・支区	*印は信徒 ○常任理事
理	ト部 康之	(北海)
	* 遠藤 清賢	(奥羽)
	* 高橋 嘉男	(東北)
	* 豊川 昭夫	(関東)
	○ 渡邊 義彦	(東京)
	* ○ 栗原 修一	(西東京)
	* 沖田 忠子	(神奈川)
	兵藤 辰也	(東海)
	* 辻 康	(中部)
	* 谷本 聰子	(京都)
	* 黒野 忠和	(大阪)
	* 小笠原 勉	(兵庫)
	* 宮脇 俊昭	(東中国)
	* 野口 菊義	(西中国)
事	小林 秀樹	(四国)
	* 坂上 剛	(九州)
	(未定)	(沖縄)
	* ○ 中川 義幸	理事長
	* ○ 篠田 安晴	
	* ○ 小川 洋一	
	○ 綱中 彰子	総幹事
	* 川添 裕一	
	七條 真明	
	* 小原 幸子	(東)
監事	川村 尚弘	(西南)
	* 村上 貴久	(南)
	* 西谷 譲	(北)
	* 宮越 光	(千葉)
日本基督教団年金局		
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-31		
Tel:03(3202)2080 / Fax:03(3202)2081		
mail:nenkin@uccj.org		
「隠退教師を支える運動」推進委員会		
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-31		
Tel:03(3232)8005 / Fax:03(3202)2081		
mail:sasae100@uccj.org		